

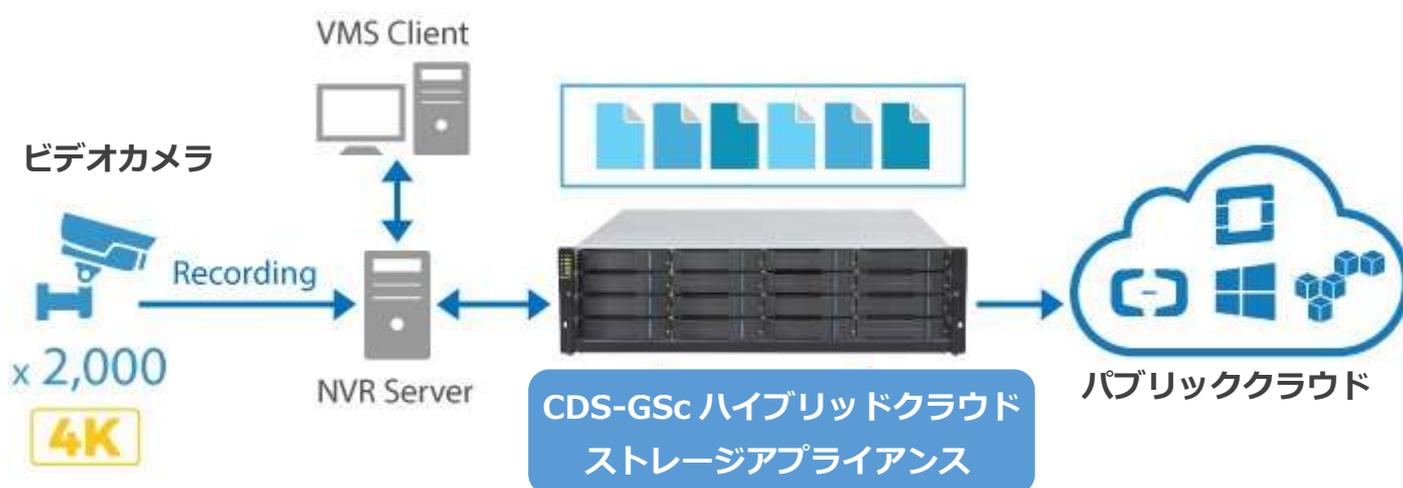
[CDS-GSc ハイブリッドクラウド・ストレージアプライアンス導入事例]

パブリッククラウドを利用した監視データアーカイブソリューション

大規模なネットワークビデオレコーダー（NVR）システムへの展開：

高解像度ビデオを撮影、録画する監視カメラの増加に伴い、データを保存するストレージシステムにおいて、大容量かつ高いアクセス性能の要求が高まっています。CDS-GSc ハイブリッドクラウド・ストレージアプライアンスによって、大規模なネットワークビデオレコーダー（NVR）システムへの展開を容易に実現し、2000 台の 4K ビデオ監視カメラが日々録画するビデオファイルをクラウドへ保存することを可能とします。

システム構成図：



ソリューション：

- 2000 台の 4K カメラから送信されるデータを 4 台の GSc アプライアンスがサポート
- 冗長構成により、切れ目のないビデオ録画の実現
- 録画されたデータは、クラウドへアーカイブ保存

導入効果：

ローカルなストレージとしては、単一障害点のないデザインと高いスループット性能によって、ビデオ録画を 1 日 24 時間、365 日間サポートします。汎用アクセスプロトコルをサポートしているので、いかなる NVR システムにも適用できます。クラウドストレージゲートウェイとして GSc はネットワーク帯域を効率的に使用するため、混雑していない時間帯に大容量の監視ビデオデータをクラウド上に保存します。また、一時ファイルの転送をブロックしたり、頻繁にアクセスされるデータは手元に保存しておいたり、クラウドストレージ動作に対する高度なキャッシュポリシー設定を提供します。GSc は現在 Amazon S3、Microsoft Azure、OpenStack Swift、Alibaba Cloud といった主要なクラウドサービスプロバイダーをサポートしています。